

JSFフォント文字の機能を使う

- ・本資料は、レーザー加工機 RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH が正常にセットアップされていることが前提となります。
- ・本資料は、RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH 用制御ソフト EzCad2J が正常にインストールされていることを前提としています。
- ・本資料は、データ作成方法等の詳細内容については、言及しません。
(詳細な内容については、「EzCad2J ユーザーマニュアル.pdf」を参照ください。)

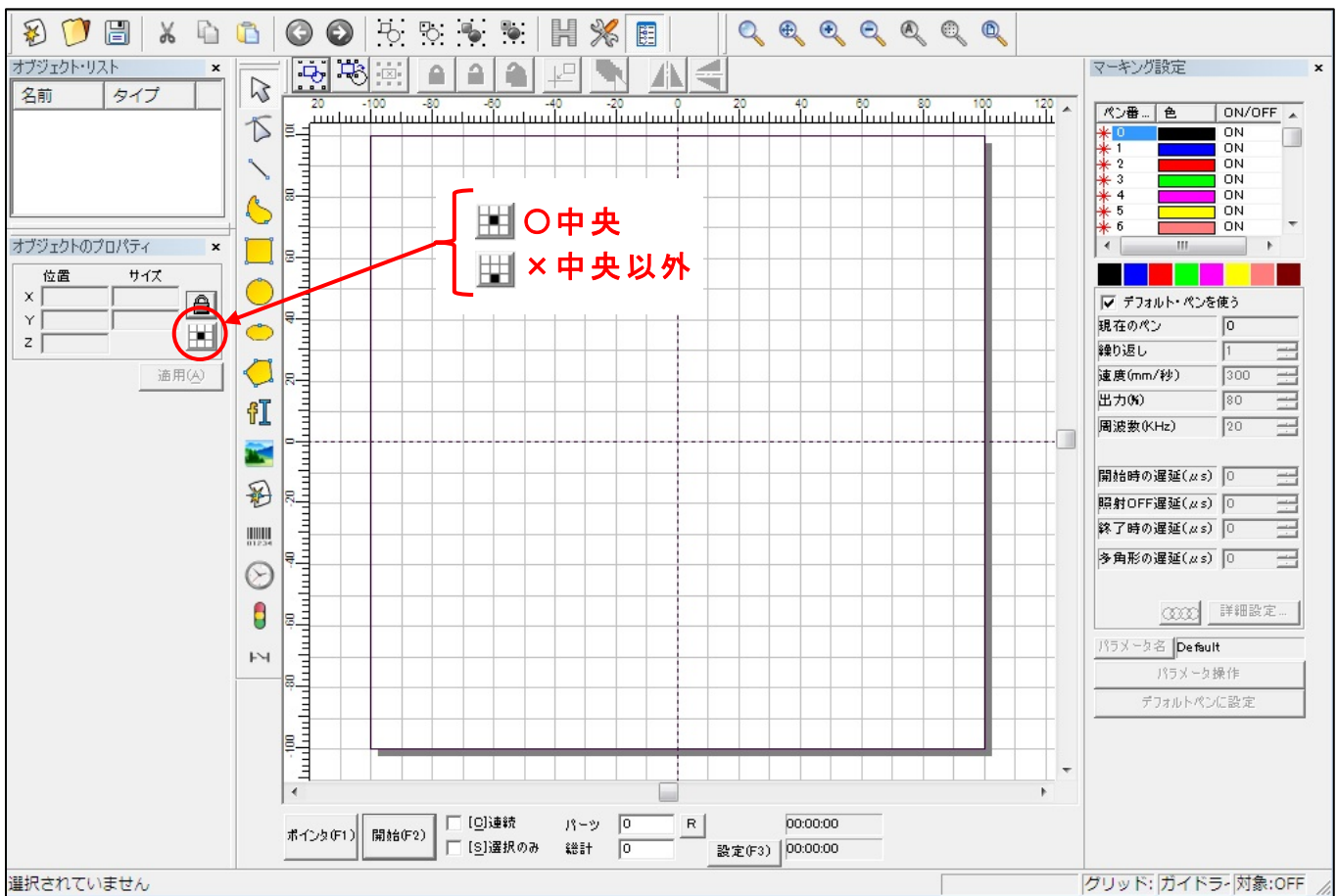
準備

加工を行う前に EzCad2J の設定を確認します。

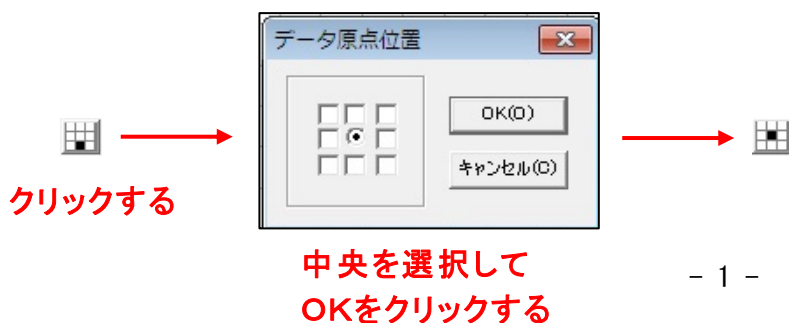
加工のたびにを行う必要はありませんが、適切な設定になっていないと加工位置がずれてしまいます。

(1) データ原点の設定

データ原点は中央に設定してください。



データ原点が中央でない場合は、ボタンをクリックして中央に設定してください。



(2) 装置のスイッチボタン

装置操作卓の一番右側「Control」の制御ボタンが押されているか確認ください。

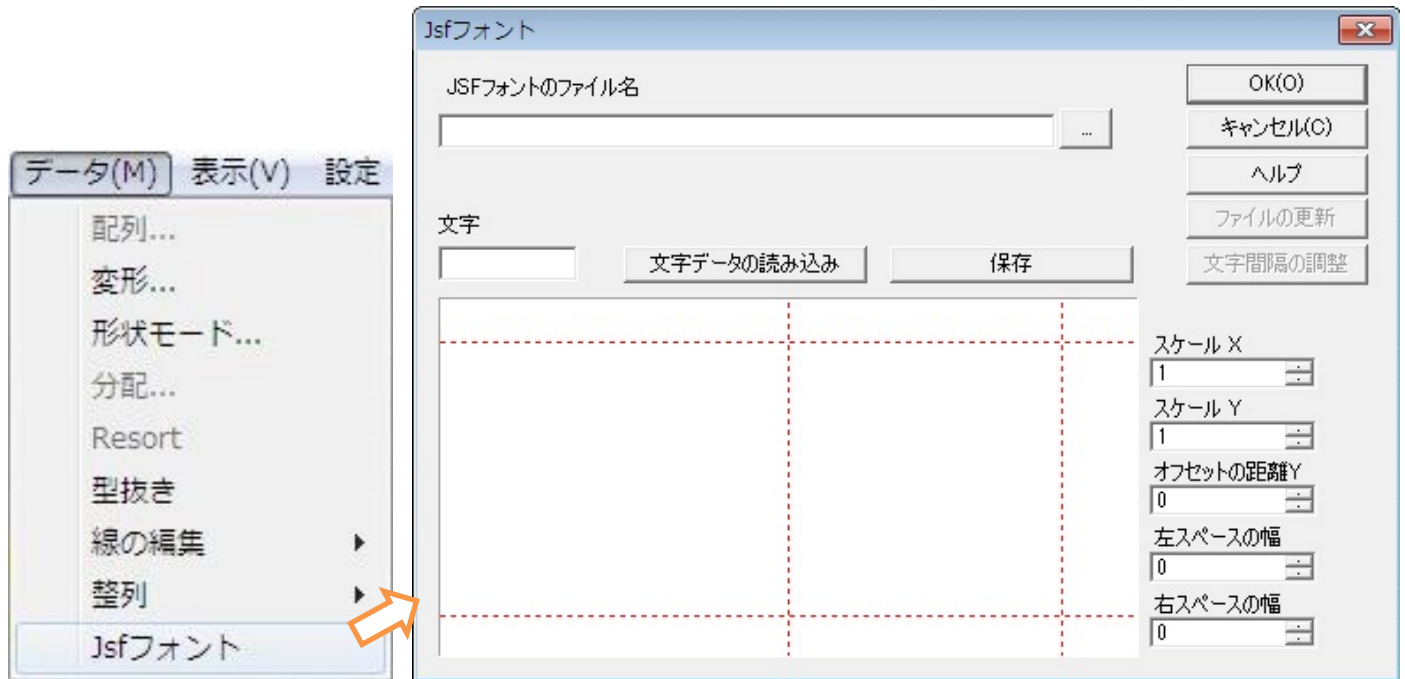


※一番右の「Control」ランプが点灯していないとEzCadプログラムがデモモードで立ち上がります。

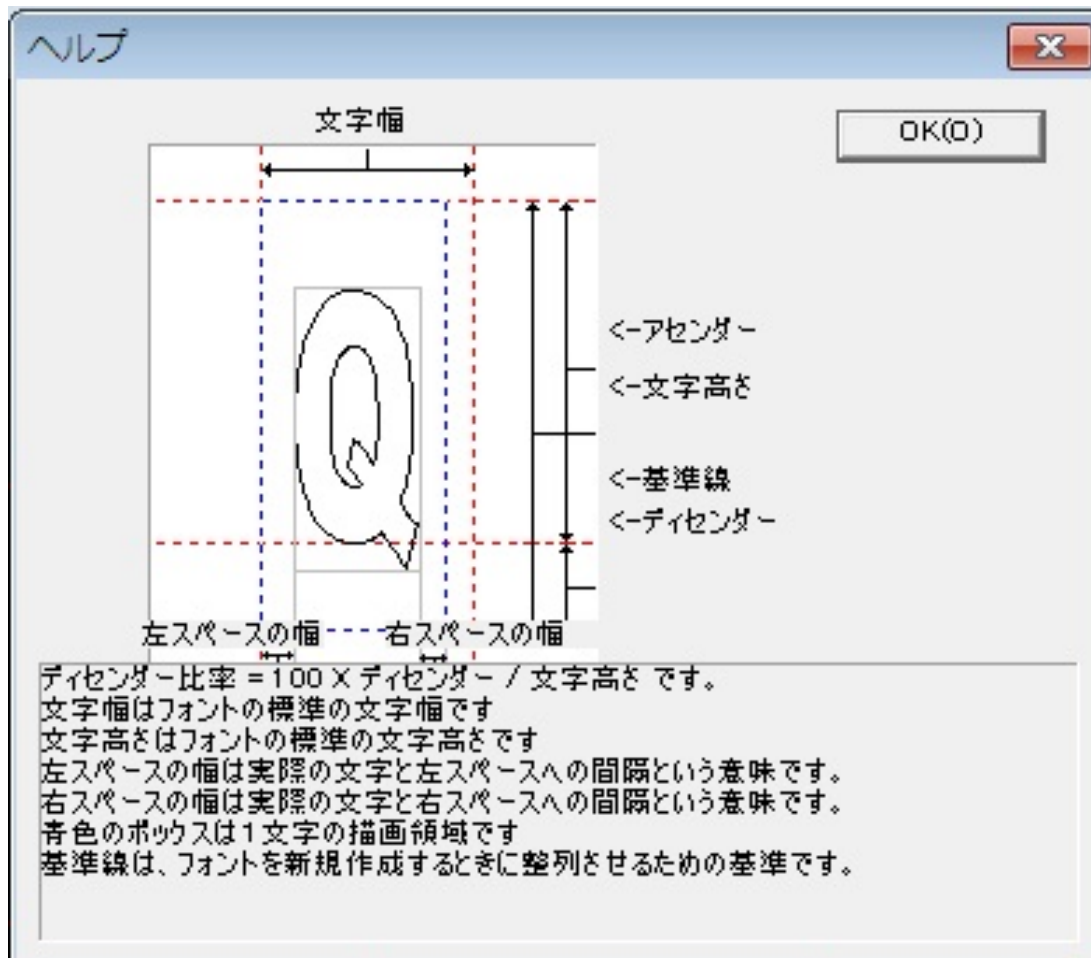
JSFフォントライブラリの機能の定義

JSFフォントは、EzCadソフトウェアの専用フォントで、ユーザーは独自のJSFフォントを構築できます。
“JSF”ポストフィックスにあるファイルは、EzCadの独自のフォントファイルで、すべてのJSFフォントファイルにあるのは、1種類のフォントです。

メニューの「データ」-「Jsfフォント」をクリックすると以下のダイアログが表示されます。



文字構造を理解する為「ヘルプ」ボタンをクリックして以下の説明図を参照します。



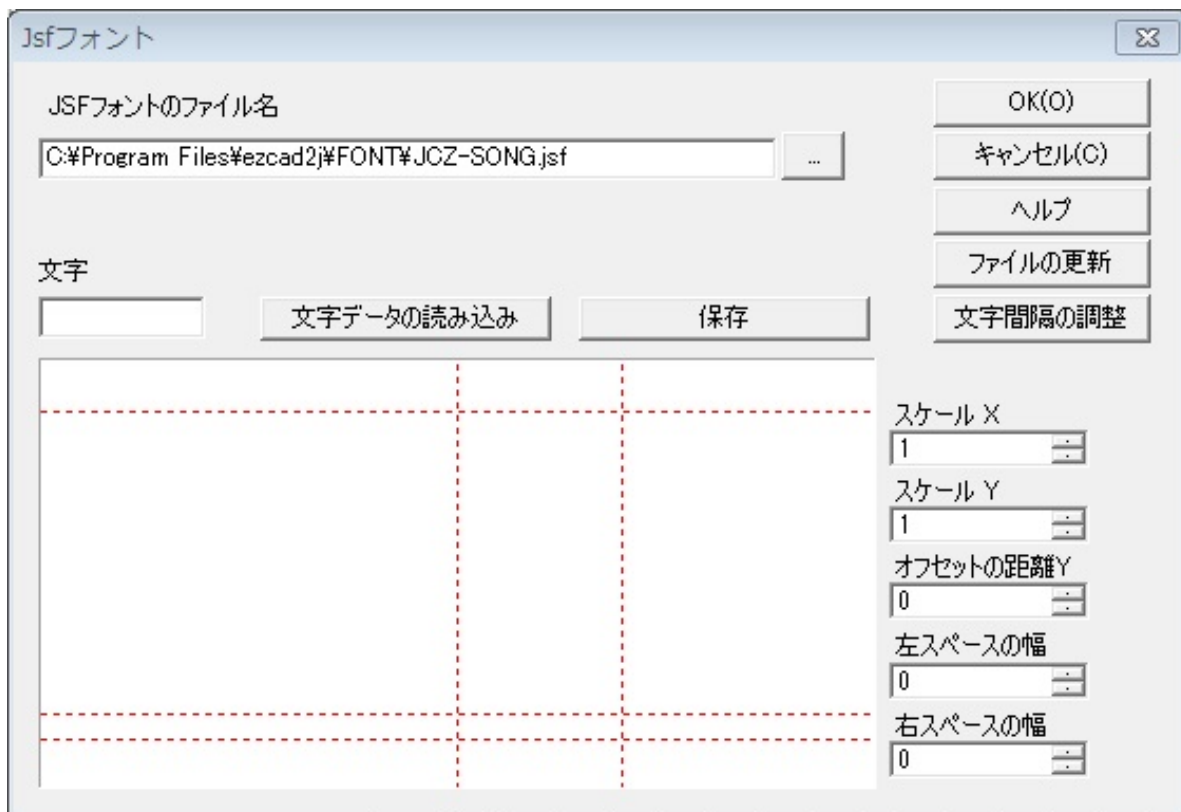
ヘルプの図を見ると、図形の文字を表す文字幅と文字高さに加えて、ソフトウェアは、「アセンダー」、「ディセNDER」、「左スペース」、「右スペース」などを認識しています。つまり、文字'Q'を表す図形をグレーの範囲に描いた場合、EZCADの'Q'は、青い点線の領域です。

図形の文字幅、文字高さ、「アセンダー」、「ディセNDER」、「左スペース」、「右スペース」は、すべてソフトウェアで修正できます。

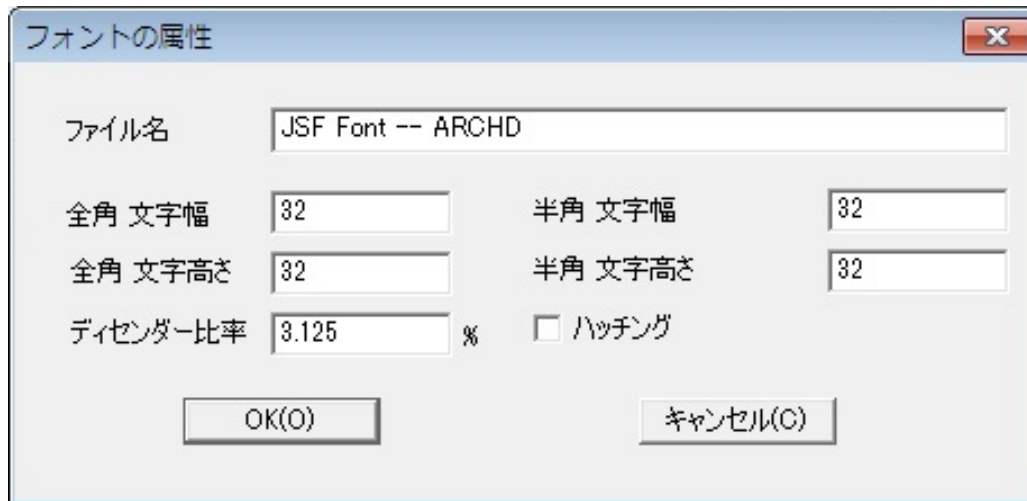
JsFフォントのダイアログ表示の各入力項目は、次のとおりです。

- (a) JSFフォントのファイル名：既存もしくは変更が必要なフォントのファイル名を指定します。
- (b) 文字：プレビュー画面の図形に対応する文字を指定します。
- (c) 文字データの読み込み：フォントライブラリから文字データを読み込みます。
注意；フォントライブラリと文字は全て既に存在する前提です。
- (d) 保存：プレビュー画面に表示されている図形を文字に置き換えます。
更新された文字の場合には、プレビュー画面の図形に対応するデータに保存する必要があります。
- (e) スケールX：プレビューの図形のX方向スケールで、設定値で図形の幅を調整します。
デフォルト値は“1”で、増やすと広がり、減らすと狭くなります。
- (f) スケールY：プレビューの図形のY方向スケールで、設定値で図形の高さを調整します。
デフォルト値は“1”で、増やすと広がり、減らすと狭くなります。
- (g) オフセットの距離Y：プレビューの図形のY方向オフセットです。
デフォルト値は“0”で、増やすと上がり、減らすと下がります。
- (h) 左スペース幅：ヘルプ画面のグレーボックスの左と青いボックスの左との幅です。
- (i) 右スペース幅：ヘルプ画面のグレーボックスの右と青いボックスの右との幅です。

ダイアログ表示では、「ファイルの更新」と「文字間隔の調整」が、薄消しされ無効化されています。これらを有効にするには、JSFフォントのファイル名をJSFフォントライブラリから読み出す必要があります。

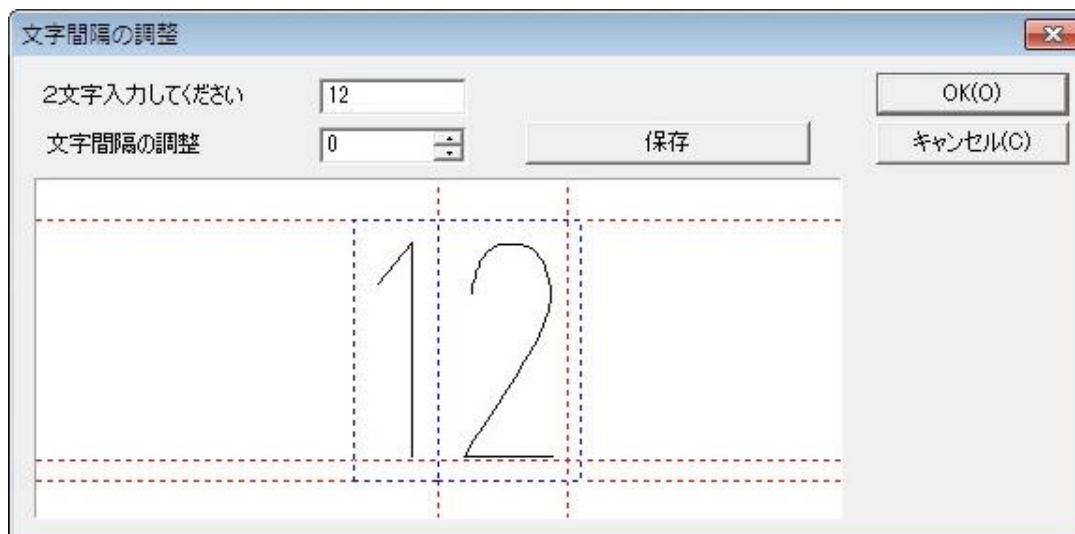


「ファイルの更新」ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。



- (a) ファイルの名: フォントライブラリに保存されたファイルの文字名称です。
- (b) 全角文字幅・高さ: 2 バイト文字(漢字)に対応する文字の幅と高さです。
- (c) 半角文字幅・高さ: 英語や数字(いずれも半角)のような1バイト文字に対応する文字の幅と高さです。
- (d) ディセンダー比率: 高さのパーセンテージは、文字のベースライン下部を示します。
- (e) ハッチング: 文字のハッチングを許可するか許可しないかを指定します。

「文字間隔の調整」ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。



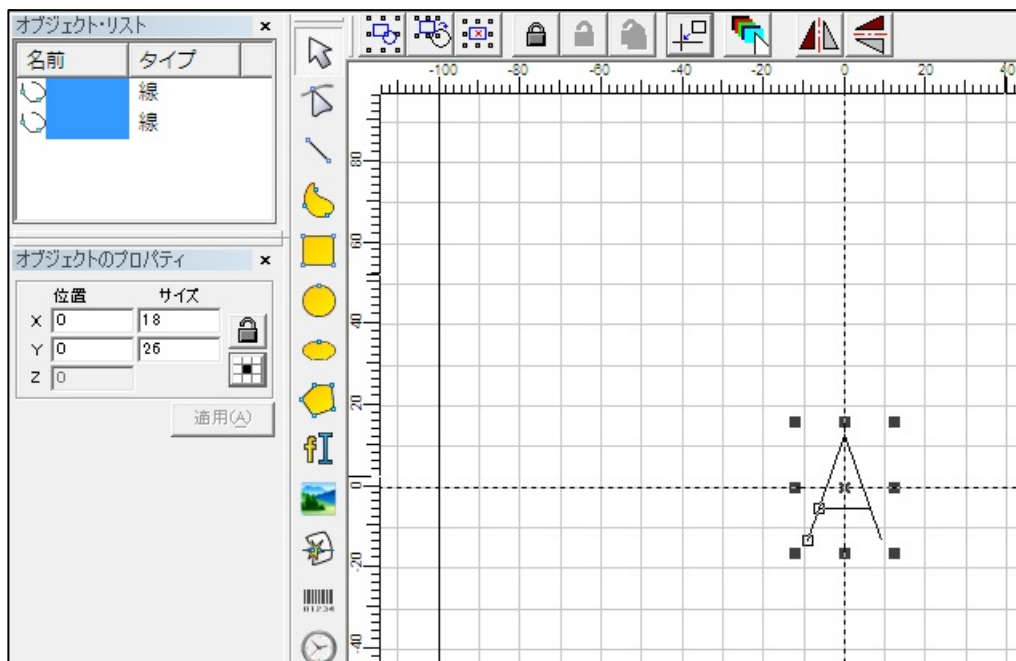
- (a) 2文字入力してください: 文字スペースを調整する為に2文字入力します。
2文字以上入力しても先頭の2文字しかプレビューに表示されません。
- (b) 文字間隔の調整: 2文字の間隔の調整を行います。
上下矢印をそれぞれクリックすると値が変化します。
1文字目は動かずに2文字目が左右に移動します。
上下矢印では、0.1単位で変化(▲:増、▼:減)し、0以下のマイナス値も可能です。
また、直接数値を入力することもできます。
- (c) 保存: 調整結果を文字スタイルファイルに保存します。

フォントライブラリの設定手順

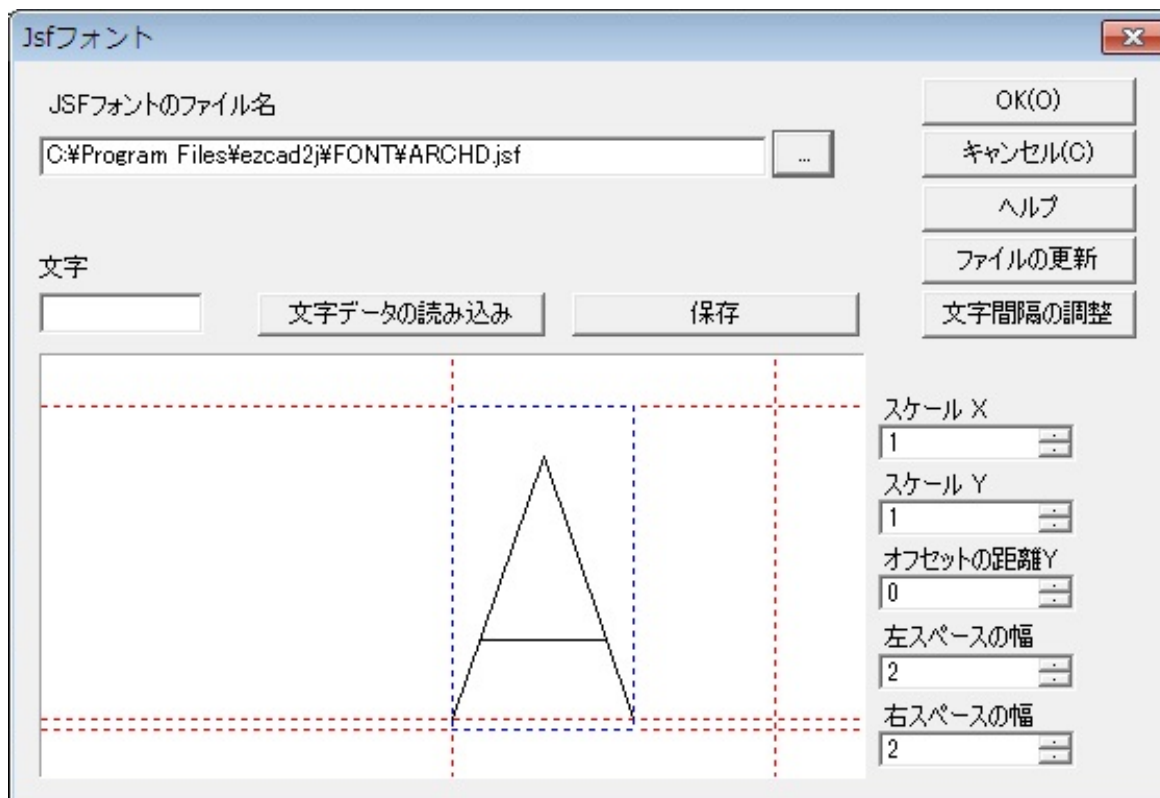
JSFの文字ライブラリーの機能を使用例で説明します。

(例)ezcad0521 という名前のフォントライブラリを作成し、文字「a」を追加します。

(a)ソフトウェアを使用して、「a」を編集またはインポートし、図形を選択状態にします。

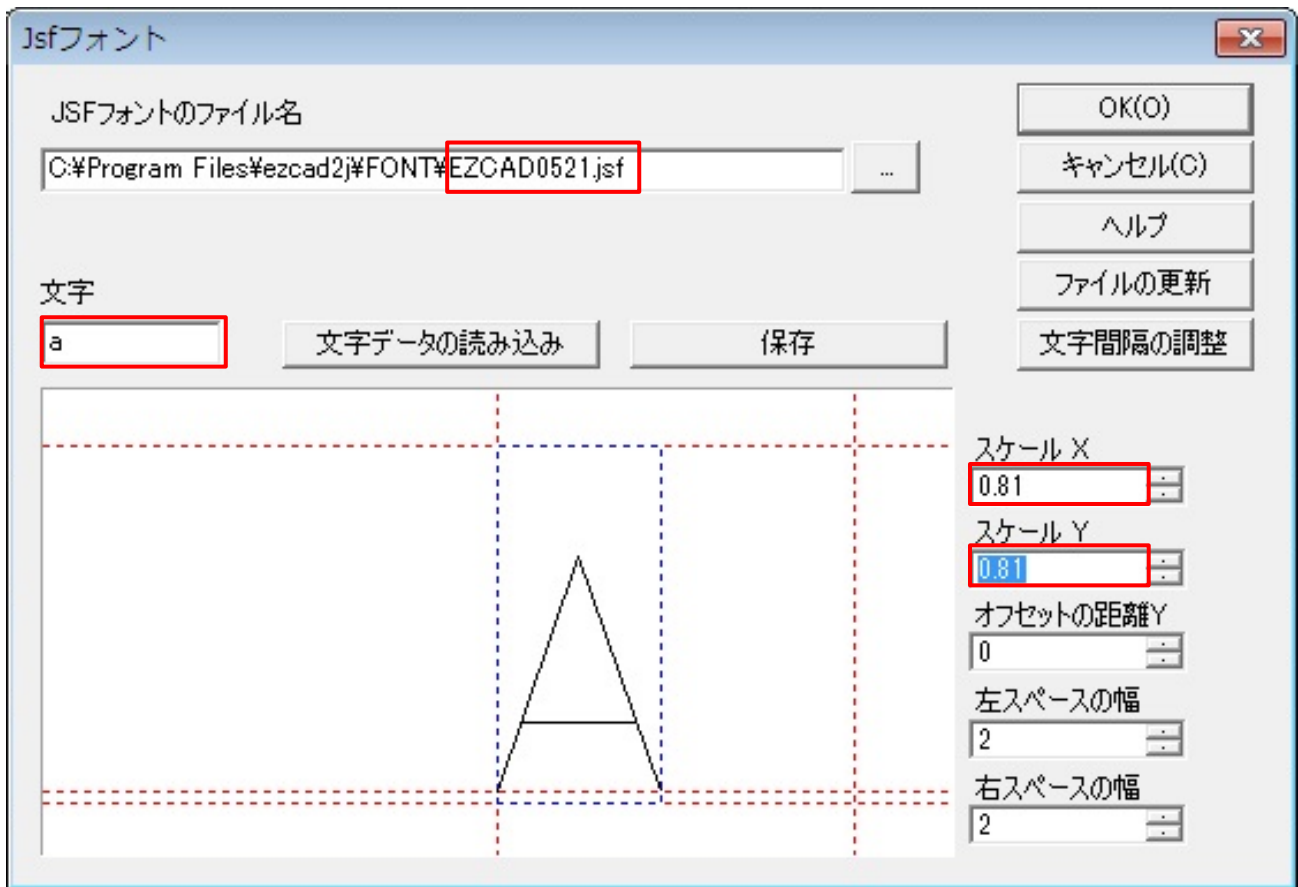


(b)メニューの「データ」-「Jsfフォント」をクリックし、表示された画面の「...」ボタンをクリックしてダイアログで ezcad2 ¥FONT下の適切な catalogue を見つけ開きます。

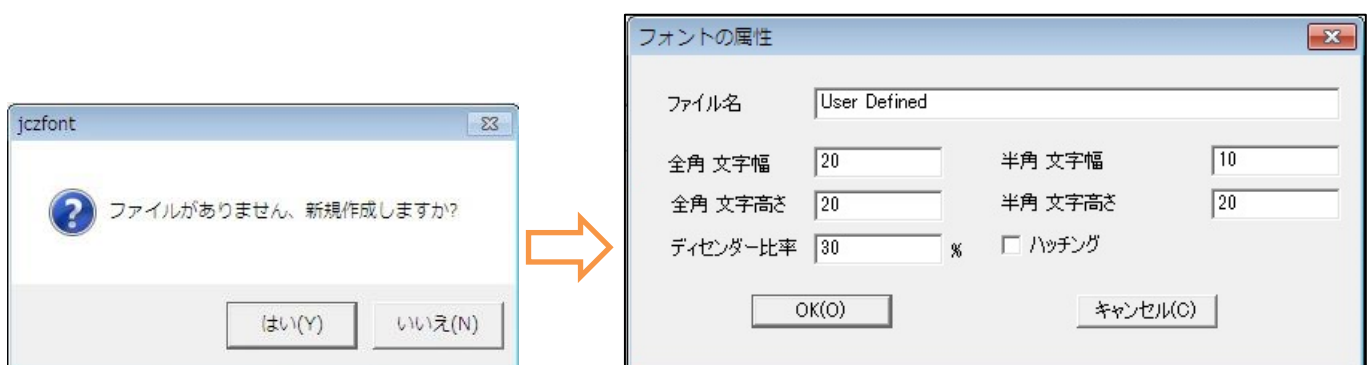


(c) 次の項目を入力・変更します。


- ・JSFフォントのファイル名を"EZCAD0521.jsf"に変更
- ・文字欄に"a"を入力
- ・スケールXを"0.81"に修正
- ・スケールYを"0.81"に修正

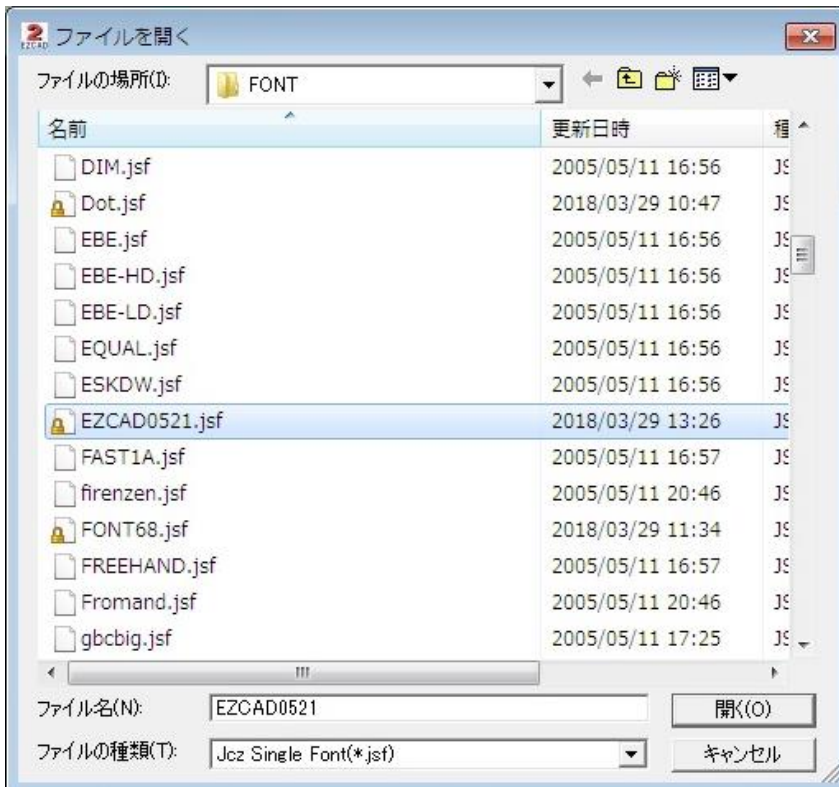


(d) 「保存」をクリックすると現状はフォルダに“EZCAD0521”ファイルが存在しないので、次のようなプロンプト画面が表示され、「はい」-「OK」のクリックで保存終了です。



「はい」ボタンのクリックで右の確認画面に移行します
(フォント属性も新規なので、デフォルト情報で確認)

- (e) 保存状況を確認するためにデザイン画面でオブジェクトの選択を何もせず、メニューの「データ」-「Jsfフォント」をクリック後、 ボタンをクリックします。



今回は、フォントライブラリー一覧に“EZCAD0521”ファイルが存在するので、これを選択して、「開く」をクリックします。

- (f) 「文字」欄に対応する“a”を設定して、「文字データの読み込み」をクリックすると作成した内容が表示されます。

